

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
		高齢者が健康で安心して暮らし続けられる街まちづくり	裾野市
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	お達者度を上げる政策		

(注1)地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2)アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名(公開)	1v4		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	ドロップダウン選択→	2. 学生
チームメンバー数(公開)	5名		
代表者(公開)	渡邊莉香		
メンバー(公開)	和田莉音、渡邊太貴、渡邊杏那、望月柚杏		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

1. 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

＜応募内容の公開＞

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名(メンバー一覧ページを参照)、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について:
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示—非営利)4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあり得ます。

＜知的所有権等の取扱い＞

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様でお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OK なら右欄の○を選択 →

OK

＜チームメンバー名簿:メンバー一覧ページ＞

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動(サービス)を行うのかを具体的に示してください。将

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でワクワクするようなアイデアを求めます。その結果、課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。2 ページ以内でご記入ください。

※応募チームとして解決したい課題のポイントを、以下にごく短く書いてください

＜解決したい課題のポイント＞

お達者度上げるためにはどのようなことができるだろうか

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアか、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこ』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみること）が大切です。

＜提案するアイデアの内容＞

『お達者度について』※お達者度とは、65 歳以上の高齢者が介護もなく一人で自立して生活ができる年数のこと

・イベントを開催する（運動、頭の体操）

↓

高齢者（男性）の方々が真似しやすく恥ずかしくなくできる動きを取り入れた裾校体操（オリジナル）をやる

このアイデアは、いつやるのかは明確に決まっていないが、定期的にやるつもり

図書館の一室を借りるか公民館などで集まっていただき、私たちが考えた裾校体操を開催する

対象者は、65 歳以上の男性のみ、女性は参加×

・スマホに精通している他のスマホチームと協力し、スマホ教室を開催（何度かに一回ずつ開催）

・若い人との交流会（何度かに一回ずつ開催）

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

裾野市のお達者度を調べたところ、最新で男性が6位で女性が12位であった。この事実には裾野市のお達者度を上げ、更に維持できるようにしたいと思った。そこで、私たち裾野高校生が主催となり、イベントを開催したい。イベントの内容として、裾高体操を開催する。裾校体操とは、私たち裾野高校生がオリジナルで考えた男性・女性関係なく高齢者でもできる体操である。そして、裾校体操の音源として『すそのん体操』を使用する。協力者としてこの音源の作詞作曲者の静岡県裾野市出身のフルヤトモヒロさん。

スマホ教室についてなぜ開催するのかは、裾野市のホームページからワクチンや他の教室などへの申し込みをスマホで申し込まなければならないことに、スマホの使い方がわからないという市役所さんの声が多かったから。このスマホ教室については、スマホ教室を開催するチームがあるのでそのチームと協力して開催する。

若い人との交流会については、市役所の方々が高齢者は若い人と交流することでより楽しくなるとの声があったので若い人との交流会を開催しようと思う。

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由(なぜ)について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由(なぜ)を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

＜参考：以下のように理由を書いていきます＞

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

裾野市の高齢者問題

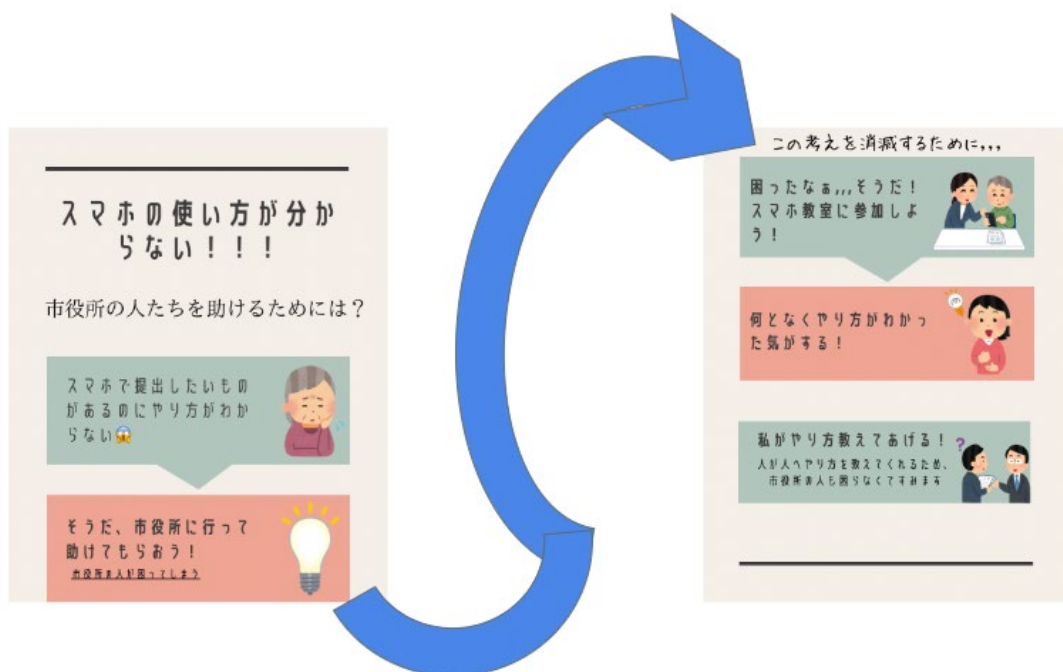
裾野市は、お達者度を上げるためにさまざまな活動を計画して、実行している。しかし、その活動に男性が参加しづらいことや参加してくれても参加人数が少ないこと、また認知症についてわからないことがあるまた、スマホの使い方がわからない・財政状況が悪化しているなどいろいろ課題がある。

地域の隠れた”介護保険料”

高齢者の健康とともに、40歳になると介護保険料を払わないといけなくなる。その介護保険料を減らすためには、お達者度を上げることが必要である。※お達者度を上げると、介護保険料が減税される。

課題をなくすためにできること

私達にしかできないことを裾野市さんと協力して課題解決につなげる。具体的には、イベントを開催する。内容は、1.若い人との交流会(高齢者は男性のみ参加可)2.頭を使う、運動などのゲームをすること。1について、若い人と交流をすることで高齢者にも元気を分け与える事ができるとのことだったのでこの交流会を開こうと思った。2について、頭を動かすことによって認知症を防ぐことができ、体を動かすことによって健康状態を維持することができる。



(3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

1. 裾野高校二年生

2. 高齢者と私たち裾野高校生とすそのん体操の音源と動画の公開場所
イベントを行う場合はその内容による

3. プロセス

- ・音楽を探す→すそのん体操
- ・ふりつけを考える
- ・高齢者でも可能なふりつけか確認する
- ・高校生が踊る動画を撮る

- ・イベントの企画

